

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	し尿処理事務に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	2	3	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	クリーン推進課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	小金谷 幸次			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	合併浄化槽への転換を促進するため、補助制度の周知PRを図る。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	補助制度の周知PRを図るとともに、補助制度の対象範囲拡大についても検討する。
②①に基づく取組み結果	補助対象地域に自治会回覧を行い、単独浄化槽使用者にPR文書を郵送した。補助要綱の改正を行い、併用住宅を補助対象とし、申請期間を1か月延長した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①汲取り便槽を使用している市民等、②下水道法事業計画認可区域を除く市域に合併浄化槽を設置しようとする者	意図(対象をどうするのか)	①し尿による水質汚濁の防止及び生活環境補の保全、②家庭から出る生活雑排水の水質汚濁物質の軽減
②事務事業の概要	公共用水域の水質汚濁の主な原因となっている生活雑排水を浄化する合併処理浄化槽の普及を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	長期的には、公共下水道の整備により汲取り世帯及び単独浄化槽世帯の減少が見込まれる。公共用水域の水質汚濁物質軽減のため、汲取り及び単独から合併浄化槽への転換の促進が求められる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	合併処理浄化槽を新たに設置するものに、設置費の一部について補助を行った。(11件)						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	し尿収集・運搬率	100	100	100	%	業務取得
	ii	し尿処理手数料徴収率	96.8	96.5	97.6	%	業務取得
	iii	補助金利用設置合併浄化槽基数	19	17	11	基	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	91,788	87,569	金額(千円)		内容	95,516	
国支出金(千円)	2,630	2,500	6,426		合併浄化槽設置補助	3,074	
県支出金(千円)	3,554	2,392				4,754	
市債その他(千円)	17,296	16,866				15,683	
一般財源(千円)	68,308	65,811				72,005	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	汲取り及び単独浄化槽から合併浄化槽への転換の件数が伸び悩んでいる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	汲取り及び単独浄化槽からの合併浄化槽への転換件数が目標を下回ったため、補助制度の検証を行う。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に要する経費(し尿処理等)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	2	3	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	クリーン推進課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	小金谷 幸次			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	脱水汚泥のクリーンセンターしらさぎでの焼却について、地元の理解が得られるよう、柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に調整を依頼する。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	あじさいの脱水方法の改善及び汚泥の焼却方法等について、検討する。
②①に基づく取組み結果	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合において計画が具体化しなかったため、焼却方法等について継続して検討することとなった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①公共下水道を使用していない者、②柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合	意図(対象をどうするのか)	し尿及び浄化槽汚泥の適正処理
②事務事業の概要	構成団体(柏市沼南地区・白井市・鎌ヶ谷市)の地区内で排出されたし尿、浄化槽汚泥を適正処理するために建設された施設の建設費償還金及び施設維持管理等の経費を負担する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	今後、施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。長期的には、公共下水道供用開始区域の拡大により処理量の減少が見込まれるが、災害時の対応において位置づけの再評価が必要とされる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	し尿処理費用及び、処理施設建設費償還金に係る負担金を支出した。					
②成果を表す指標	指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i 処理率	100	100	100	%	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)	284,702	215,153	金額(千円)	内容	171,835	
国支出金(千円)			48,784	管理費		
県支出金(千円)			134,091	し尿処理費		
市債その他(千円)			32,278	し尿処理施設償還金		
一般財源(千円)	284,702	215,153			171,835	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	焼却炉の耐用年数は一般的に15年とされており、今後は必要な修繕等を計画的に実施していく。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	狂犬病予防等に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	1	1	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	環境課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	山崎 宏			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	狂犬病予防注射の接種率を上げるため、未接種犬の飼い主に対して、ハガキによる督促等を今後も行う。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	狂犬病予防注射の接種率を上げるため、未接種犬の飼い主に対して、ハガキによる督促等を今後も粘り強く実施する。
②①に基づく取組み結果	登録数 5,860頭(H26.3.31現在) 注射済票発行数 4,321頭(H26.3.31現在) 接種率 73.7%(申請数:市把握分のみ)		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内畜犬	意図(対象をどうするのか)	狂犬病の発生を予防し、その蔓延を防止及び撲滅する。
②事務事業の概要	毎年4月に獣医師会と協力して市内各所で集団登録と狂犬病予防注射を行っており、また事情により集団登録及び予防注射が行えなかった場合には、動物病院で予防注射を行った後に、窓口で鑑札等の交付を行っている。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	狂犬病予防法により、犬の登録及び狂犬病予防注射の接種が義務付けられ、動物の愛護及び管理に関する法律の改正により、動物の個体識別措置(マイクロチップ)普及促進が決定している。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	集合予防注射 1,678件 一般予防注射 2,643件 新規登録頭数 374件						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	畜犬登録数に対する予防注射接種率	75	75	74	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	2,173	2,503	金額(千円)	内容		2,925	
国支出金(千円)			1,759	非常勤職員賃金			
県支出金(千円)			103	印刷製本費			
市債その他(千円)			78	鑑札等作製委託			
一般財源(千円)	2,173	2,503	29	畜犬登録促進指導委託		2,925	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	狂犬病予防注射の接種率を上げる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法令により市に義務付けられた業務であるため、今後も継続していく。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	第2斎場建設事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	1	3	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	環境課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	山崎 宏			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成25年度は基本設計、測量調査、環境影響評価調査、埋蔵文化財調査を実施予定。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	引き続き第2斎場建設に係る調査・手続きを実施予定
②①に基づく取り組み結果	各調査を実施		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	四市複合事務組合(船橋、習志野、八千代、鎌ヶ谷)	意図(対象をどうするのか)	第2斎場建設事業が社会慣習、公衆衛生、その他公共の福祉の観点から支障なく行われる。
②事務事業の概要	四市複合事務組合(船橋市・習志野市・八千代市・鎌ヶ谷市)が建設する第2斎場整備に必要な経費の負担を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	高齢人口の増加に伴い、火葬件数が増加しており、既設の馬込斎場の拡充、増設の余地がなく、火葬能力の限界に近づいている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	四市複合事務組合による第2斎場建設費に係る負担金を支出した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	事務進捗率	6	8	13	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	6,721	29,928	金額(千円)	内容	31,272		
国支出金(千円)			29,928	四市複合事務組合負担金			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	6,721	29,928			31,272		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	高齢人口の増加に伴い、馬込斎場の火葬能力が限界に達することが予測されるため、第2斎場の建設が急務となっている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	第2斎場建設の進捗により事業の精査・検証を行っていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	負担金の支出	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	負担金29,927,959円を支出	29,501	29,928	当初	29,501	29,928	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			
③達成状況	完了			補正			現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当	427		
		平成26年度への繰越額(単位:千円)					